

- (2) 民生案内・旅行
 (3) もちつき・世代間交流
 (4) 分館だより
 (5) 「街角広場」近況
 (6) 防犯・お知らせ

ひがしおか

東町連協・公民分館
 東丘社協・防犯東丘
 東丘新聞委員会発行
 《発行責任者》山田寿太郎
 (発行部数) 4300部

新しい年を迎えて

あけまして、おめでとうございます。

新年にあたり皆様のご多幸をお祈りいたします

「ひがしおか」は21世紀とともに発行する1年、8回目の発行となりました。色々な行事や出来事を報告し、案内してきましたが一人よがりになっているのではと危惧しています。

皆様のお声と、お気付きの点をお届け頂きますようお願い致します。

この「ひがしおか」は皆様のご支援とともに4団体の助け合い協力によって出来ています。和と協力の大切なことを学びました。

昨年9月東町に出来た「街角広場」も豊中市、生活環境問題研究所、商店会の援助で出来ました。毎日の運営は東町の人々の協力と助け合いがあってのことです。人が憩い、待ち合わせ、会合の場所として利用され東町のサロンとなりました。町の誇れる事業であり、豊中市は勿論、全国的に誇れる町づくりだと思います。

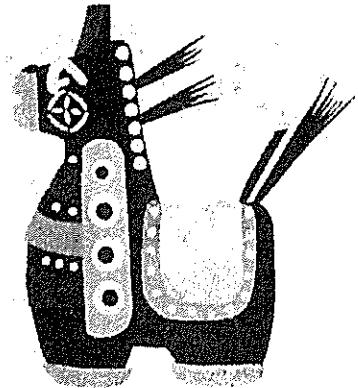
賛助会費のお願い

東丘校区社会福祉協議会

ご協力を頂いた賛助会費は、右記の募集を行っています。
 ご協力を頂いています。諸事多難の折りですが、皆様の厚い御支援の程よろしくお願い申し上げます。

東丘社協では毎年二月に賛助会員

謹
賀
新
年



製作:八千代クラブ

この21世紀が戦で始まり、経済不況と生活不安の真っ只中にあることが残念です。今世界的に批判が始まっているグローバル化がその一つの原因と考えられます。グローバル化は、富の一極集中と経済発展至上主義につながり、それはまた、限られた地球資源の浪費、地球環境の悪化、人間の心の破壊を進めています。年の初めに冷静に考えてみたいものです。 《編集委員長》 山田 寿太郎

<input type="checkbox"/> 賛助会費(毎年2月に1回何口でも結構です)
普通賛助会費(個人) 1口 500円
特別賛助会費(法人 個人) 1口 5000円

東丘校区社協の主な福祉活動

- ☆ ふれ愛給食、会食サービス(年間25回)
- ☆ ふれ愛サロン、おしゃべりサロン(年間24回)
- ☆ 敬老の集い(9月)
- ☆ 老人会、独居老人の旅行(2回)
- ☆ 健康教室、ガン、健康検診(共催)
- ☆ もちつき大会(12月第2土曜日)
- ☆ いもほり(小学校1,2年生と老人・町の人)
- ☆ 小地域ネットワーク(ボランティア)活動



東丘校区民生児童委員担当区域

担当者	住所	電話番号	担当区域
中村 章子	D 5-304	6831-4195	メゾン
中川 邦江	A 11-301	6834-7371	桜丘、公社
宮本智恵子	A22-104	6832-8777	深谷1,3
岸畑美津恵	C 10-206	6832-4923	C 1棟~10棟
吉山 妙子	C 19-106	6834-0822	C 11棟~19棟
福岡 正輝	C 26-204	6833-7705	C20棟~26棟
小笠原菊子	C 27-607	6833-5576	C27棟~28棟
井村 啓二	C 29-1008	6834-0784	C29棟~30棟
小阪 栄	B 6-106	6872-0834	B 1棟~7棟
米山恵美子	B 9-305	6831-5259	B8棟~10,18~21棟
中島 光子	B 14-409	6872-9537	B11棟~17棟
真野 廷子	A 34-304	6831-5906	あかしや、東丘、ステラハイツ、医療、近隣センター

民生委員は地域に密着し、高齢の方をはじめ生活上のさまざまな悩みをお持ちの方の相談・支援を行政機関や専門機関と連携して行っています。

新民生児童委員就任ご挨拶

このたび、民生児童委員として、左記のような担当区域を受け持つことになりました。未熟ではありますが、皆様と行政とのパイプ役として精いっぱい努めるつもりであります。よろしくお願ひいたします。

中川邦江、宮本智恵子、米山恵美子

共同募金のお礼

平成13年度の共同募金にご応募頂きました皆様に厚く御礼申し上げると共に、集計をご報告致します。
尚、事務用交付金は例年どおり東丘校区社協に寄付させて頂きます。

募金合計額 498,997円

東町自治会連絡協議会

会長 福岡 正輝

社協 秋の亀岡周遊

11月30日

次回のふれ愛サロンは1/8(火)1時~3時まで、東町会館であります。皆様のお越しをお待ちしております。

ご寄付御礼

- ◎ 金2万円 匿名様
- ◎ 車椅子 その他 森様

上記のご寄付を頂きました。
厚く御礼申し上げます。

東丘校区社会福祉協議会

会長 高野 光男

一出雲大神宮、楽々荘、穴太寺、大石酒造
絶好の秋日和に恵まれた47人は、池田から423号線を1時間で亀岡へ。空氣すむ木々の中にたたずむ出雲大神宮で名水をいただき、明智光秀の城跡をバスの窓から眺めながら、楽々荘へ。

昼食後、明治時代の迎賓館でコーヒーを頂き穴太寺へ。穴太寺で釈迦涅槃像をなで名庭で暫し休み。

コスモス畑の大石酒造で酒造りの説明を受けたあと、試飲、土産を買う。

亀岡は大堤川の良水で地酒が多い。
秋の亀岡周遊を楽しんだ一日でした。



「街角広場」をのぞいてみよう

9月30日のオープン以来、多くの人にぎわう「街角広場」は今や、東町の憩いのスポットになりつつある。買い物や散歩のついでにお茶を飲む人、写真、絵画、陶芸、手工芸品などの展示品にウンチクを傾ける人、静かに時の流れを楽しむ人など、さまざまである。「街角広場」は商店会のご好意により提供されたものを地域が自主運営しているものであるが、短期間にこれだけ多くの人々に親しまれ、利用されている現実をみると、これから地域コミュニティーや近隣センターのあり方に重大なヒントを与えていくようである。

あなたも一度　「街角広場」をのぞいてみよう
ちがった世界が開けるかも。



(12月2日 ミニ防災フェア)



(12月24日 クリスマスコンサート)

オープン時間	午前11時～午後4時
1月より(日曜日、祝日) は定休日となります	
メニュー	お茶　　コーヒー　　紅茶 (お気持ち100円程度)



(12月26日しめなわ作り)



(子供と大人のふれあいの場)

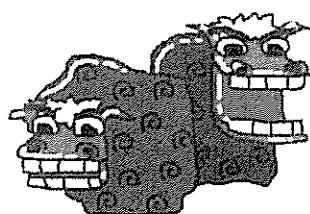
1月よりの展示、イベント募集中(作品展・パフォーマンス・フリーマーケット・研修・講習、他…)

楽しい・おもしろい年賀状募集します。(街角広場にて展示します。)

1月より日曜日毎に街角広場は休みとなります。

詳しくは「街角広場」事務局(宮本) 06-6832-1175

4団体(連協・分館・社協・防犯) 責任者



精一杯の汗を流して

新年明けましておめでとうございます。

平素は、交番の活動に対して、御協力頂き、交番を代表してお礼申し上げます。

私は、昨秋に他署より当地の交番に転勤してきました。他所と比べて、空き巣や強盗などの大きな事件が少なく、少年の溜まり場も極端に少なくて素直な子どもの姿が多いと言う印象を持っております。これも、日頃からの皆様の防犯意識の高さ、交番とのスムーズな連携プレーによるものと思います。今年も、昨年同様、安全で平穏な地域を目指して、交番勤務一同、精一杯の汗を流しますので、ご協力をお願いします。

さて、府警では毎年1月10日を、『110番の日』としまして、各種のキャンペーンを行います。皆様と警察を結ぶホットラインとして、110番のご利用を、お願いします。

豊中市新千里中央交番 地域課第三係 菅原賢二



4団体責任者名簿

自治会連絡協議会会长	福岡 正輝	6833-7705
校区社会福祉協議会会长	高野 光男	6832-1951
東丘公民分館長	赤井 直	6832-4589
防犯協会東丘支部長	吉田 昭	6831-8911

困ったとき・緊急連絡

火事・救急 119	警察への連絡 110
豊中警察署 6849-1234	
新千里中央交番 6849-1234 (内線510)	
ガス漏れのとき 072673-4675	
豊中市青少年補導センター 6866-0101	
豊中第八中学校 6872-0552	
東丘小学校 6872-0331	

明るい街づくりのために

輝かしい新年をご家族の皆様とお迎えされましたことを心から慶賀申し上げます。

昨年は、地域防犯活動に対しまして、ご指導ご鞭撻を賜りまして厚く御礼申し上げます。新世紀に相応しい地域の活性化と進展を目指して、コミュニティルーム創設と活力あふれる街角広場とどれをとっても街おこしの力強い息吹を感じます。

一人一人の力を出し合ってニュータウンのモデルケースとして明るいまちづくりにこそってがんばっていきたいものと念じます。本年も民警協力をもって犯罪のない安心と安全の街づくりに邁進する事を誓いまして年頭のご挨拶と致します。

防犯東丘支部長 吉田昭

こうして防ごうピッキング被害

地域のつながりも大切

防犯対策の基本

① ウンドア・ツーロック

1つのドアに鍵を2つ以上取り付ける。侵入に要する時間が2分を超えると53%、5分でさらに20%の泥棒が侵入をあきらめる。視覚的にも、その家の防犯意識の高さが示され、効果的である。

② シリンダー交換

防犯性能の高いシリンダーに取り換える。現在大量に普及している、鍵の溝がV字型の「ディスクシリンダー型」は、工具があれば簡単にあく。

③ 窓にも補助錠

クレセント(締め金具)の他に、窓の上か下部分に補助錠をつける。

編集後記

昔、東町の集合住宅に入居した人たちは、若い時代の「仮の住まい」として、近所に煩わされない「個の生活」を楽しもうとしていました。千里が生まれてから40年、今や多くに人にとってその住まいは「終(つい)の棲家」になりつつあり、仕事の組織を離れた高齢者は「孤の生活」にはいらっしゃるとしています。広報誌「ひがしおか」、街角広場、ふれ愛サロンなどは、そのような人達を地域の輪に引き入れ、いきいきとした生活を取り戻させようとしているのです。

どうか皆さん、積極的に地域の活動に参加してください。
(T)